

平成21年度  
生物多様性  
モデル事業

事業名：カタクリ自生地復元事業(地域で育み、守り、楽しむ花の里山・啓発事業)  
団体名：風呂の前里山保存会

## ☆ 目的

里山は希少な野生生物の生息地であったが、人の手入れが行き届かなくなったため現在では荒れた里山が増えている。そこで、地域の里山において下草刈りや自然観察路の整備などの手入れを行うとともに、自生するカタクリなどの希少な山野草を守るため、地域ぐるみによる保全活動を行う。

## ☆ 内容

市原市喜多地区の水田に面した斜面林にて、千葉の里山に自生するカタクリなどの希少な山野草の保護のため、周囲への保護柵設置や観察路の整備のほか、保護啓発の必要性をPRし、見回りなど地域ぐるみによる保全活動に結びつけた。

また、地域の方を対象に自然観察を開催し、この貴重な自然を花の里山として愛でる活動を展開した。

- ◎ 下草刈りや落ち葉かきなどの作業 年12回程度
- ◎ 自然観察会の開催 6回
- ◎ 地域の幼稚園や小中学校への広報啓発
- ◎ 観察路や樹木名札の整備

カタクリの花



## ☆ 今後

- ◎ 外来種も目に付くようになり、対応が必要
- ◎ 自生地の保護と身近な自然を地域への紹介をどう両立していくかが課題。
- ◎ 保護活動を今後も継続していきたいが、参加者の高齢化にどう対応していくか。



## ☆ 団体概要

4年前より市原市喜多地区において、千葉県レッドリストの重要保護植物であるカタクリの自生地の保護、復元作業を行っている。当初は、竹が斜面を覆いつくしていたが、刈り取り日差しが入るようになると、ギンランなどカタクリ以外のレッドリスト掲載種も発芽し、現在では、希少な在来種の生育地となっている。困難な作業をこれまで継続できたのは、この地にカタクリを残したい、誰かがやらねば、という参加者の思いが結束したからだ。

## ☆ 活動の成果など

- ◎ 子供を対象とした初のイベントでは、地域の幼稚園や小学校の協力が得られ、十分楽しんでもらうことができた。
- ◎ 掲示板、樹木名札の作成・設置に業者の支援、里山作業、保護啓発イベントには他の団体の積極的な協力参加で内容の濃い活動ができた。
- ◎ カタクリ保護啓発掲示板の設置で、地域のカタクリへの認識が高まり、活動にもねぎらいを頂くようになった。
- ◎ カタクリ自生地以外の地域で行う草刈り作業への協力などにより、地元により溶け込むことができた。
- ◎ 会の活動に刺激を受け、長期に放棄された近隣の里山、休耕田でも草刈などの作業が行われるようになった。
- ◎ 市の活動に刺激を受け、長期に放棄された近隣の里山、休耕田でも草刈などの作業が行われるようになった。
- ◎ 市原市や他団体との連携も活動を通じて深まった。

## ☆ 問い合わせ

住所：〒290-0142 市原市ちはら台南6-9-9-202

電話：0436-52-7487 Fax：0436-52-7487

代表者：中山 美代子 Mail：koyomi.chihara@kjc.biglobe.ne.jp